誉牧野問題は解決へ

弁護士が話し合い

足寄、陸別両町の農民五十戸の共同牧野だつた誉牧野約八百㌶の売買をめぐつてのゴタゴタは、このほどようやく解決の段階を迎えました。

七日に釧路地裁帯広支部でひらいた土地売買契約確認請求の民事訴訟事件の第六回公判では、足寄町農協の坂口参事が被告側（売主三十八戸）申請の証人として出廷して、売買契約当時のもようを証言し、次回は五月三十日に原告側（買主室蘭市日本企業観光）申請の北海道臨海興業の日沼専務に、被告側申請の足寄町農業委員会の山岡事務局長と司法書士の渡辺出氏を、それぞれ証人として呼ぶことにして閉廷しました。

このあと公判は七月ごろまでにはかかり、そのあと裁判所側から職権和解のはこびになるのではないかと推測されていましたが、この七日の公判のあと、原告側の岩谷弁護士から被告側の松浦弁護士に対して話し合いの申し入れがあつて急速に法廷外の和解へとすすんだもようです。

こうなつたのは札幌市の丸正観光が乗り出して日本企業観光に替つて問題を処理することになつたためですでに同社の幹部が来町してことをすすめていますが同社としては当然に三十八戸の分だけでなく五十戸全体がまとまることを前提にしているので、このために両弁護士のあいだで現地での解決には足寄不動産の前寺忠三郎氏に一任することになりました。

現地での話し合いがつけば仮処分を解除して訴訟を取下げて一億五千万円の土地代金が支払われることになりますが、丸正観光では立木を引取り、土地は東京の某社が買取ることになるそうですが、前寺氏としては地域の振興に役立つ土地の活用を買主に要請していくとのことです。

早坂氏はアッサリ勇退

陸別町議選

四月二十日に公示の陸別町議選への動きは、足寄にくらべてはげしさはなく出馬の顔ぶれは議長の竹内千代蔵氏に公明党の池北線貫徹氏が加わつたのでこれから身をもつて過疎対策にとりくむことにつづいてといわれるが、もともと一期だけのつもりだ選んだ早坂氏はアッサリ勇退を表明しました。

▲大通り　竹内千代蔵氏に公明党の池北線貫徹氏

▲東一条　矢鋪正信氏に国鉄道区　宮古秀氏

▲栄町　早坂英一氏は一期で勇退、高橋一吉氏未定

▲共栄　渡辺木材社長の渡辺平吉氏と同社員の林保治氏

▲新町　池尻英治氏。新人の大淵信雄氏は高橋一吉氏が出なければ一

▲薫別　鈴木定一氏は未定

▲上陸地区　西野一郎氏に新人の西岡光男氏

▲トマム地区　松台国雄氏（殖産）高橋誠氏（北斗満）の両現役に元議員の新藤万亀男氏（苫務）新人の北村国義氏（関）と谷郁司氏（弥生）藤沢勉氏（上斗満）

▲小利別　佐々木茂雄氏に前議員の西村秀盛氏

という状況で、定員十八名を一、二名オーバーしてどうにか選挙になるのではないかとみられています。

今期かぎりでアッサリと勇退を決めた早坂氏は『みなさんからやめないで引き任任職員をおいて植林もやつているので、これを拡大して昨年から札幌方面と取引のメドがついた山菜の加工出荷と畜肉生産にとりくむとともに、陸別の消費者価格を押えることにつとめたい、頂いた議員報酬は貯金してあるので町のためお役に立つようしたい』と語つています。

新人登場　選議　四月町議に向って！

北村国義さん　陸別町　関

大正四年に福島県で生れ小学校を卒業したところで関農場の解放によつて現住地へうつり、十五町歩を一千七百円で入手した自作農の二代目。

当時いつしよに二十戸が同行したものの、現在残つているのは五戸だけになつてしまつたが、三十年近くも農協理事をつとめ、酪農振興会理事としてこの道ひと筋の努力と経験が買われて町の振興対策委員、総合計画審議会の産業建設副部会長として参画。

百六十戸の酪農家のうちで美濃代議士の後援会長として選挙のさいは参議院でも道議の場合でも一貫して社会党候補を支持してきた労農提携の実績があつたからこその地区労推薦。

それでも保守的な周囲の農民から地区労のおスミつきに意外の感じをもたれていますが『これだけ保守政治によつて苦しめられている農民が自覚しなければ』と政治の革新を強調。

西岡光男さん　陸別町　止若

足りないので、津別よりの五十九、六十、六十一林班の適地二百㌶を国営パイロットによつて開発すべきで国営がダメなら道営なり団体営なりでも実現をはかりたいとのこと。

六部落推薦といつても五十戸、百五十票程度のところへ現議員の西野一郎氏との併立。

産業委員長、建設委員長だつた赤川周一郎氏が今期かぎりという約束によつて勇退のあとがまに上陸別、作集、止若、中陸別、下陸別、共和の六部落からの推薦をうけて登場。

西岡氏が特に強調しているのは営林署の問題で、もし統廃合となれば町の死活問題で、どこまでも存置をはかつていくべきだし、ところによつては伐採したあと何年間も植林していない面もあるとのこと。

つぎに、五十二林班百六十七㌶の共同利用草地が造成されているが、これでは大正十三年に徳島県の生れで十五才で満蒙開拓義勇隊に志願をして大陸へわたり、敗戦の拡大とともなつて関東軍に現地人隊のまま終戦、そしてシベリヤ抑留となつたものの、持ち前の体力とカンのよさで民主同盟の幹部に推されて抑留生活を乗り切つて二十三年に帰国、翌年、伯母のいる足寄へやつてきて農協で五年ほどつとめてから土木建設の石田組を創立して実績をあげていまでは国や道の指名ランクはB級の大手組。

足寄町建設業協会の副会長、足中PTA会長、足高PTA副会長、相撲協会長徳島県人会長、満蒙義勇隊会長などの肩書が示すようなしたい忙しい立場にあるが、町行政の関係では開発促進期成会、町民憲章制定準備委員会などの委員が六つ、社会教育関係では体育協会事長、籠球連盟会長など七つ、商工観光関係では商工会広報委員長観光協会事務局長など九つ、などとにかく政党関係では自民党支部事務局長から政経同志会長まで八つ、このほか西小PTA副会長、自衛隊協力会事務局長など九つ、などとにかく役職の多い人。

昭和八年に足寄生れの四十一才で、本別高校を卒業して中央大学へすすんで在学中の四年間は学業のかたわら森三樹二代議士の秘書をつとめていたのは政治学の実地勉強のためで、卒業後は北海タイムスへ入社して社会部記者。

家の方は妹についてもらつて政治家をめざしていたようですが、その妹が嫁いでしまつて父も病弱ということで、記者生活三年で帰郷して印刷業に専念。

大学在学中は社会党の森代議士の秘書をしていたので、当時の自民党寄部からも冷たい眼でみられたそうですが、いまでは支部になくてはならない人。

町議会の方はこの次あたりと予定していたところが身内の加藤伊三郎氏や先輩の斎藤孝氏や新沼芳雄氏が勇退のあとを周囲から推し出されたもの。

幸いに議席が得られれば役場関係の印刷ものの仕事はできないので、その分はほかで稼ぐとのこと。

大学卒は大滝議長、遠山総務委員長についで三人目で、新人のなかでは期待されている一人。

石田富男さん　足寄町　南四区

大正十三年に徳島県の生れで十五才で満蒙開拓義勇隊に志願をして大陸へわたり、敗戦の拡大とともなつて関東軍に現地人隊のまま終戦、そしてシベリヤ抑留となつたものの、持ち前の体力とカンのよさで民主同盟の幹部に推されて抑留生活を乗り切つて二十三年に帰国、翌年、伯母のいる足寄へやつてきて農協で五年ほどつとめてから土木建設の石田組を創立して実績をあげていまでは国や道の指名ランクはB級の大手組。

足寄町建設業協会の副会長、足中PTA会長、足高PTA副会長、相撲協会長徳島県人会長、満蒙義勇隊会長などの肩書が示すようなしたい忙しい立場にあるが、町行政の関係では開発促進期成会、町民憲章制定準備委員会などの委員が六つ、社会教育関係では体育協会事長、籠球連盟会長など七つ、商工観光関係では商工会広報委員長観光協会事務局長など九つ、などとにかく政党関係では自民党支部事務局長から政経同志会長まで八つ、このほか西小PTA副会長、自衛隊協力会事務局長など九つ、などとにかく役職の多い人。

昭和八年に足寄生れの四十一才で、本別高校を卒業して中央大学へすすんで在学中の四年間は学業のかたわら森三樹二代議士の秘書をつとめていたのは政治学の実地勉強のためで、卒業後は北海タイムスへ入社して社会部記者。

家の方は妹についてもらつて政治家をめざしていたようですが、その妹が嫁いでしまつて父も病弱ということで、記者生活三年で帰郷して印刷業に専念。

大学在学中は社会党の森代議士の秘書をしていたので、当時の自民党寄部からも冷たい眼でみられたそうですが、いまでは支部になくてはならない人。

町議会の方はこの次あたりと予定していたところが身内の加藤伊三郎氏や先輩の斎藤孝氏や新沼芳雄氏が勇退のあとを周囲から推し出されたもの。

幸いに議席が得られれば役場関係の印刷ものの仕事はできないので、その分はほかで稼ぐとのこと。

大学卒は大滝議長、遠山総務委員長についで三人目で、新人のなかでは期待されている一人。

松崎稔さん　足寄町　南一区

立候補予定者のなかでは最年少の満三十才。

高橋幸雄さん　足寄町　中足寄

警察官をしていた父の最終任地の音別町で生れて二才のときに中足寄の本拠に戻つてここの小中校、足高を卒業して大学に進学したかつたが家の事情で思うようにならず、家業の木工場を手伝いながら法政大学から東洋大学の法科の通信教育をうけ、毎年上京してクーリングをつづけておりいずれ法学士の資格がとれるという勉強ぶり。

いまでは工場経営の方はいつさい任されて、二人の弟を大学に入れようとして一生懸命。

西村彦三郎氏が今期で勇退との申し入れがあつてから、地域としてはその後継者について二、三の候補予定の顔ぶれを検討した結果一番若い高橋氏にしぼられたのは、まじめ人ながらで地域の信望があり、書棚にいつぱいの書籍は広範囲にわたつての精進のほどを示していて、政治感覚を身につけていること。

これまでの議会は、なにか行政上のことを非難攻撃することに重点がおかれているようですが、車の両輪としての議会も町民に責任があるので、ただ言いたい放題でない議会にしたい、その点は白紙の立場の新人議員が公正な態度で議会に臨むために清新なグループをつくりたい、とのこと。

庭石は道東随一の当会社へご用命下さい
有限会社 大浦造園　造園　土木　造林　造材　請負
庭石販売店　足寄町牙登　T 五二
足寄有放　T 二四六六

大自然のなかの人工美
—いで湯のふるさと—
観光と保養の 芽登温泉
足寄町芽登　T 二八五五

冒きゆう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
㊞ 自動車 新津はなや
足寄町西三区　T 二六二六

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T 二五一二

新量表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド
敷物一式
マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T 二四二八

家具と建材
信用は最大のサービス
お墓を新造、改造する方など
お気軽にご相談下さい（無料）
ただし毎日18時から20時まで（日曜は随時）
吉相墓研究会
主幹 高本修司
足寄町中央五区　高本とうふ店　T 二五〇五

技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二二一番

マッカラー　スチール　共立
チェンソー代理店
刈払機各種　電動工具　造林用具
打又物類（機械迅速修理）
有限会社 鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　T 二三〇七

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊏久保呉服店
足寄町　T二一四八